



- ⑪ マリスカ・ヘワルト(オランダ)〈そうって、最高!〉
- ⑫ アンドレア・ガゴ(ペルー)〈本〉
- ⑬ マッシミリアーノ・ディ・ラウロ(イタリア)〈感情料理人〉
- ⑭ 波田佳子(日本)〈パオロのスケッチブックのおかしな住人たち〉
- ⑮ いちかわともこ(日本)〈収穫祭〉
- ⑯ umeco(日本)〈わたしのおはなし〉



西宮ぎやらりーさんぽ 西宮ギャラリー連絡会とは?

(NGL)が主催して、毎年当館でのポーロニャ展の会期に合わせて、各ギャラリーが入選作家の個展や絵本に関連した企画展を開催しています。タイミングが合えば、ギャラリーに滞在中のアーティストから作品や制作についてお話を伺えることも。当館で展覧会をご覧いただいたあとは、ぜひギャラリーを巡ってみてください。

<https://ngl2011.jimdofree.com>



EVENT ワークショップ
「作ろう、コラージュで世界でひとつの鳥!」

販売開始日: 2021年8月2日(月)
定員: 先着40名
価格: 500円(税込、通信販売の場合870円)

購入方法: 美術館のミュージアムショップ、または通信販売にてご購入いただけます。詳細はホームページをご確認ください。

今年の入選作家の相澤史さん考案の、様々な模様の紙をコラージュ(切ったり貼ったり)して、カラフルな鳥を作るワークショップです。お家で制作を楽しめるキットを美術館にて販売(通信販売も行います)。どんな模様の紙が届くかは楽しみに。完成した作品は大きな壁面の一部として展覧会期間中に美術館で展示し、一つの空間を作り上げます。

相澤史 profile
神奈川県茅ヶ崎生まれ。武蔵野美術大学造形学部油絵学科在籍中から子供の造形教室で教えることから一緒に子供たちと制作する楽しさを知り、造形教室を主宰。その後、ドイツでの生活を経てアメリカ NY 州の郊外で現在は家族とともに暮らす。絵画を中心に制作する傍ら地域の図書館で「Literary art class」と題して絵本にまつわる造形クラスを実施。

[主催] 公益財団法人西宮市大谷記念美術館、一般社団法人日本国際児童図書評議会(JBBY)
[後援] 西宮市、西宮市教育委員会
[協力] Bologna Children's Book Fair Bologna (Illustrators Exhibition, curated by Bologna Children's Book Fair / Bologna Fiere in partnership with JBBY)



[入館料]
一般 1,200 (1,000円)
高大生 600 (400円)
小中生 400 (200円)

●()内は前売料金(いずれも税込価格) ●前売券はローソンLoppi(Lコード52980)または当館受付にて販売【前売券の販売は8月20日(金)まで】 ●西宮市内在住の一般の方は1,000円(要証明書呈示)
●西宮市内在住65歳以上の方は一般料金の半額500円(要証明書呈示) ●ココロカード・のびのびパスポート呈示の小中生は無料 ●心身に障害のある方及び介助者1名は無料(要手帳等呈示)

[交通] 阪神電車「香櫨園」駅南西徒歩6分(近鉄奈良・大阪難波より直通) / JR「さくら夙川」駅南西徒歩15分 / 阪急電車「夙川」駅南西徒歩18分

西宮市大谷記念美術館
Otani Memorial Art Museum, Nishinomiya City

2021
8/21 Sat
9/26 Sun

【開館時間】
午前10時~午後5時
入館は午後4時30分まで
【休館日】
水曜日



2021
Bologna Children's Book Fair Illustrators Exhibition
国際絵本原画展

西宮市大谷記念美術館
Otani Memorial Art Museum, Nishinomiya City

〒662-0952 西宮市中浜町4-38 tel.0798-33-0164 <http://otanimuseum.jp>
※新型コロナウイルス感染症予防、拡大防止のため会期の変更、入場制限を行う場合があります。最新の情報は美術館公式HPでご確認ください。



チャン・シャオチー(台湾)
「ずっと目をつぶっていられたらいいのに」

1964年から続く、世界で唯一の子どもの本専門の国際見本市「ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア」では毎年、絵本原画のコンクールが行われており、世界各地から多くのイラストレーターが作品を応募しています。5点1組のイラストを用意すれば誰でも応募できる公募展で、絵本の専門家である審査員たちによって、すでに絵本として発表された作品も未発表のものも全て公平に審査されます。当館では1978年からこのコンクールで入選した作品を紹介する「イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」を、毎年恒例の展覧会として開催してきました。しかし、昨年は新型コロナウイルスの影響により、当館での開催は中止となりました。今年に入っても依然収束が見えない状況ではありますが、ボローニャの見本市事務局では、新たな試みとしてオンラインでのコンクールの審査を行い、見本市もオンライン開催されました。その結果今年は例年になく質の高い作品が数多く集まり、68カ国3,235組の応募のうち、日本人8名を含む23カ国76作家が入選を果たしました。イタリアではかななかった入選作の原画展示を日本でしています。

2021
イタリアボローニャ
国際絵本原画展



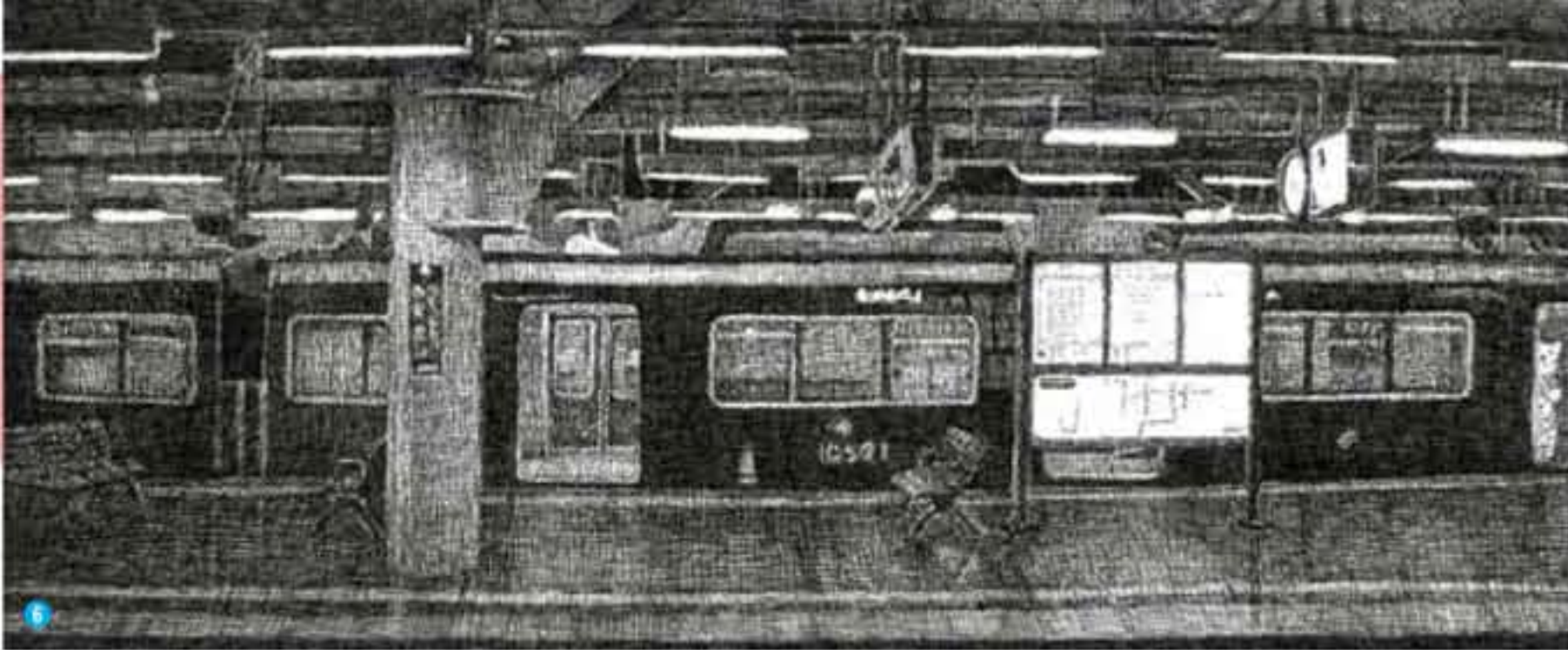
Bologna Children's Book Fair Illustrators Exhibition



ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェアとは？

イタリア北部の都市ボローニャで1964年から始まった、子どもの本専門の国際見本市です。毎年春に開催され、世界中から集まった出版社がブースごとに分かれて、出版物を紹介しイラストレーターとの商談を行います。期間中には、絵本原画のコンクール、編集者や絵本作家らによるトークイベント、ラガッツィ賞をはじめとした優れた絵本を表彰する賞の授与式など、ブックフェアを盛り上げる様々なイベントが開催されます。新型コロナウイルスの影響で昨年に続き今年もオンラインでの開催となりました。現在もアーカイブが残されており、閲覧することができます。

<http://www.bolognachildrensbokfair.com/en/home/878.html>



世界中から集まった。
個性あふれる
絵本原画作品が一堂に！！

- ① アンドレア・アンティノリ(イタリア)〈キツネザルの一生〉
- ② アンナ・アパリシオ・カタラ(スペイン)〈ウーゴはねむれない〉
- ③ チェン・イーチン(台湾)〈日本の品々〉
- ④ あお木たかこ(日本)〈ABC〉
- ⑤ ジン・ウニョン(韓国)〈道ひの発明家〉
- ⑥ 西岡秀樹(日本)〈まよなかのようちえん〉
- ⑦ ホリベクミコ(日本)〈ねこちゃんの すきなこと〉
- ⑧ ジョヴァンニ・コラネーリ(イタリア)〈物語をなくしたピピ〉
- ⑨ シュエ・ホイイン(台湾)〈夜のおさんぽ〉
- ⑩ カテリーナ・ゴレリク(ロシア)〈窓の向こうに〉
- ⑪ ホアキン・カンパ(アルゼンチン)〈プール〉
- ⑫ いわさき智沙(日本)〈愛犬といっしょに〉
- ⑬ 相澤 史(日本)〈わたし、お姉ちゃんになります〉



Exhibition
2021



絵本原画コンクールとは？ ブックフェアを盛り上げるため1976年から始まった、世界最大級の子供のための絵本原画のコンクールです。毎年世界中から編集者や大学の教授、絵本作家など、絵本の専門家4~5名が審査員として選ばれます。毎年数千点の応募作が画力、表現力、独自性など様々な観点から審査され、入選作が決まります。作品サイズの上限はありますが、国籍や出版歴の有無に関する規定はなく、応募条件は5点1組のイラストを用意することのみ。未発表の作品でも、既に絵本として発表された作品(ただし2年以内に発行されたもの)でも応募可能です。作品技法にも制限はなく、アナログでもデジタルでも応募可能なため表現方法は近年ますます多様となっています。このコンクールでの入選は、世界中の出版社に自作をアピールできるチャンスでもあり、これを機に絵本を出版するなど、絵本作家としての第一歩を踏み出した入選者も数多くいます。日本からも毎年多くのイラストレーターが出品しており、第一回展に松原直子が入選して以来、毎年入選を果たしています。近年では中国、韓国、台湾などの入選者が増加傾向にあり、アジア諸国の絵本への注目の高さが伺えます。

